

大学院教育支援機構（DoGS）海外渡航助成金 報告書

Outcome report

計画名 Plan	欧州での長期研究滞在
氏名 Name	岡本 優太
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	経済学研究科 経済学専攻 博士3年
渡航国 Country	イギリス
渡航日程 Travel schedule	2025年 9月 12日 ~ 2025年 12月 23日

- ページ数に制限はありません。No limits on the number of pages
- 写真や図なども組み込んでいただいて結構です。You can include pictures or illustrations.
- 各項目について具体的に記述してください。Please fill in each item specifically.
- 日本語または英語で記載ください。Please use Japanese or English.

渡航計画の概要 Outline of the travel plan

イギリスのLondon School of Economics and Political Science (LSE)にて、Visiting Research Studentとして研究滞在をおこないました。京都大学でおこなっていた研究の発表を行いフィードバックを頂くこと、頂いたコメントに基づき拡張をおこなうこと、新たな研究テーマを模索すること、そして人的ネットワークの構築を行うことが主な目的でした。滞在中は、キプロスで開催されたEconometric Society European Winter Meetingにも参加し、研究発表をおこないました。

成果 Outcome

LSE および Winter Meeting での発表では、多くの有益なコメントを頂きました。特にLSEのYike Wang先生、シカゴ大のKirill Ponomarev先生には、非常に詳細なディスカッションの機会をいただきました。頂いたコメントを踏まえ、当該論文を改訂中です。

新たなテーマについての研究を進めることもできました。特に、LSEでの受入教員である大津泰介先生および東京大学の栗栖大輔先生との共同研究として、interval data・compositional data・distributional data・network dataといった、複雑な観測データに関する計量経済分析・因果推論手法の提案を複数おこないました。[1, 2]の研究は英文査読誌にて査読中で、その他のプロジェクトも現在進行中です。加えて、渡英後に単独執筆した[3]の研究も、英文査読誌に投稿後、R&Rとなっており、現在改訂中です。公開済みの研究成果を以下にまとめています。

[1]Kurusu, Okamoto, and Otsu (2025a), "Random Sets from the Perspective of Metric Statistics," [arXiv:2511.13440](https://arxiv.org/abs/2511.13440)

[2]Kurusu, Okamoto, and Otsu (2025b), "Difference-in-Differences with Interval Data," [arXiv.2512.08759](https://arxiv.org/abs/2512.08759)

[3]Okamoto (2025), "Joint Inference for the Regression Discontinuity Effect and Its External Validity," [arXiv:2509.26380](https://arxiv.org/abs/2509.26380)

今後の展望 Prospects for the future

進行中のプロジェクトは近日中にワーキングペーパーとして公開予定です。当該研究は3月に、京都大学でのセミナーで口頭報告予定です。投稿済み論文は、査読対応を行い、研究成果を国際学術誌に掲載することを目指します。また、[2]の研究は1月の関西計量経済学研究会で口頭報告予定です。その他の研究も、今後国内外で発表できればと思っています。